



平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業採択
文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」
学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン



岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

Newsletter

特集 次世代女性研究者育成推進事業

Dec.
15th

第2回メンタリングに関するセミナー

日時 平成23年12月15日(木) 場所 岡山大学本部棟6階第1会議室
10:00～12:00

若手教員を対象としたメンタープログラムを整備している名古屋大学から講師をお招きして、セミナーを開催します。パネリストとして参加する本学の若手教員およびベテラン教員と共に、皆さんもメンタリングについて考えてみませんか。

講師

中井 俊樹 氏
(名古屋大学高等教育研究センター准教授)



メンタリングに関する取組状況のご報告

テニュア・トラック教員(ウーマン・テニュア・トラック制度および異分野融合先端研究コア)とそのメンターによる第1回メンター・メンティー交流会(7月28日実施)では、外部資金獲得、研究室での学生の指導、仕事と私生活のバランス、出版、授業といったテーマについて意見を交換しました。



また、平成23年度岡山大学全学教員研修「桃太郎フォーラムXIV」(9月9日実施)の第3分科会「新任教職員に対するFD・SD:メンタリングのコツ」では2つの話題提供を行い、学内外の参加者の間で、新任教員のメンタリングを行うにあたって教職員それぞれができること、制度として必要なことなどについて意見を述べていただきました。



Dec.
20th

学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン 事業総括報告会

日時 平成23年12月20日(火) 14:30～16:30
場所 岡山大学創立五十周年記念館

Nov.
11th

「第3回中国四国男女共同参画シンポジウム」 女性研究者が活躍する大学 ～支援ネットワークの強化を目指して～

日時 平成23年11月11日(金) 13:30～17:50
場所 岡山コンベンションセンター 1Fイベントホール

平成21年度より3年間の予定で実施してきた「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」もいよいよ終わりに近づいてきました。事業総括報告会では、男女共同参画室員が事業成果について報告し、「男女共同参画は誰が行っているの?」「WTT制度って一体どうなったの?」「大学は女性が働きやすい大学になったの?」「来年度以降はどうなるの?」といった皆様の疑問にお答えします。

なお、当日はWTT教員および研究支援員事業利用者による発表もあります。来年度以降に向けて、女性研究者支援のあり方と一緒に考えましょう。

中国・四国地区においては、2年前から中国四国男女共同参画シンポジウムが地区内大学の持ち回りで開催されています。本学が主催する今回は、文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課による「特別講演」、鈴山雅子氏(三重大学男女共同参画コーディネーター)による「基調講演」に加え、地区内の大学・行政機関が女性研究者支援の状況を口頭およびポスターで発表します。さらに、中国・四国地区国立大学による男女共同参画推進のための共同宣言文を発表する予定です。皆様の参加をお待ちしております。



特集 次世代女性研究者育成推進事業

高校生・中学生対象

体験・科学のおもしろさ

おかやまサイエンス・トーク

岡山大学ウーマン・ティニア・トラック（WTT）教員と大学院生が理系分野の研究紹介を通して、中・高校生に“科学のおもしろさ”、“科学の神秘・深遠さ”を伝え、理系分野への興味を深めることを期待して「おかやまサイエンス・トーク」を実施しています。

平成22年度から開始した本事業は、これまで岡山県内の高校・中学校を対象に9回実施しています。事前に打ち合わせや研究紹介の練習会を行うなど準備にも力を入れています。

平成23年度の実施内容

開催	研究紹介タイトル	研究紹介者
県立総社高校 (平成22年7月)	「季節を知る生物」	玉木 沙織 大学院自然科学研究科 博士前期課程1年
	「生命を支える糖鎖」	前田 恵 大学院自然科学研究科(農)特任助教 WTT教員
県立勝山高校 (平成22年7月)	「CPGによる4歩歩行ロボットの歩容生成」	西阪 麻衣子 大学院自然科学研究科 博士前期課程2年
	「生物の行動を支配するホルモン、その進化」	御奥 真穂 大学院自然科学研究科(理)特任助教 WTT教員
県立矢掛高校 (平成22年7月)	「生物の行動と体内時計」	花房 志保 大学院自然科学研究科 博士前期課程1年
	「電子の動きを探って 物質の性質を見よう、変えよう」	江口 律子 大学院自然科学研究科(理)特任助教 WTT教員
岡山大学教育学部 附属中学校 (平成22年9月)	「ぜんそく重症度の簡易検査キット」	兵田 朋子 大学院保健学研究科 博士前期課程2年
	「光合成の研究」	吉岡 美保 大学院自然科学研究科(理)特任助教 WTT教員
県立岡山一宮高校 (平成22年10月)	「ヤマブドウの発がん予防効果について」	藤井 奈々 大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程2年
	「森の樹木の豊作と凶作：開花・結実のメカニズムと次世代の残し方」	宮崎 祐子 大学院自然科学研究科(農)特任助教 WTT教員



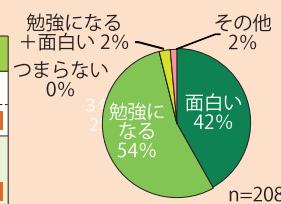
研究紹介



高校生からの質問

アンケート結果 (平成22年度参加生徒対象)

内容についての印象



このような機会があればまた参加したいですか？



高校生対象

2011年岡山大学オープンキャンパス参加企画

理系の魅力 女子高生のみなさんへ(8月5日・6日実施)

理系の女子学部生、大学院生12名がフリー・トーキングおよび研究紹介ポスターの展示・説明を行い、高校生に理系のおもしろさ、魅力を伝えました。また、事前に協力学生同士が自己紹介をする機会を設け、専門分野や学年等の異なる学生同士の交流を通して、協力学生に対しても視野を広げる機会を提供することが出来ました。

高校生の皆さんから寄せられた感想

「理系に対しての印象が変わりおもしろうだと思った」、「理系はニガテだと思っていたけど今日のお話で印象が変わったので、もっと考えてみようと思った」など、多数の感想が寄せられました。



フリー・トーキングの様子
207名の高校生・保護者が参加しました。

アンケート結果 (平成22年度参加生徒対象)

「理系の魅力 女子高生の皆さんへ」コーナーはいかがでしたか？



協力院生・学部生

理学系：駒田 さやかさん【学部生】

農学系：太田 奈緒子さん【院生】

保健学系：兵田 朋子さん【院生】

薬学系：藤井 奈々さん【院生】

内山 友世さん【学部生】 / 宮本 敬子さん【学部生】

工学系：綾野 敬子さん【院生】 / 西阪 麻衣子さん【院生】

舟場 真衣香さん【院生】 / 本仲 君子さん【院生】

環境理工学系：内田 春香さん【学部生】 / 仁内 実和さん【学部生】

学部生のあなたに

男女共同参画の視点にたったキャリア教育の試み

男女共同参画室では、平成23年度前期より教養教育科目を開講しています。初年度は、教育学部、法学部、工学部の学生を中心とする37名が単位を取得しました。予想に反して男性が受講生の過半数を占める結果となりました。受講生からは「女性が働くことも大切だと思った。」、「色々な生き方があることが分かった」などの感想をいただいています。WTT教員を始めとする多様な背景を持つ講師の話を聞くこと、ほぼ毎回1,000字のレポート作成、グループ討論、そして周りの「大人」へのインタビューを基にレポート作成・発表を通して、受講生の皆さんのが自らのライフスタイルについて考えるお手伝いが出来たのであれば幸いです。

なお、講義の一環として、7月21日には次世代女性研究者育成推進事業第1回講演会「自然科学に魅せられて」を開催しました。受講生以外にも、女子大学院生や教員が参加し、WTT教員の研究内容や研究者になった過程等について講演を聞き、将来について気になっていることを語りあいました。

平成24年度は、より専門職志向を強めて「プロフェッショナルを目指すあなたへ：男女共同参画社会のライフ・デザイン」と講義名称を変更して開講する予定です。



岡山大学人材登録バンクを活用した研究支援員事業の実施ー最近の動きー

「進化プラン」で実施している研究支援員事業では、出産・育児・介護等の理由により仕事と家庭の両立が難しい理系の女性教員に対して、研究補助業務に従事する研究支援員を配置してきました。



利用対象の拡大

制度改正により、女性教員であれば誰でも分野を問わず研究支援員事業を利用できるようになりました。男性教員も、配偶者が大学等の研究者である場合には利用できます。平成23年度の募集は終わりましたが、今後の利用をご検討ください。なお、平成23年10月1日現在、7名の女性教員が研究支援員事業を利用しています。

意見交換会の実施

「進化プラン」終了後の研究支援員事業について、研究支援員事業利用者を始めとする学内外の方々のご意見をうかがうため、研究支援員事業に関する意見交換会を2回実施しました。意見交換会では、男女共同参画室員が事業の現状について報告するとともに、利用者が研究生活の現状や事業に関する意見を発表しました。また、グループによる討論を通して、「なぜ利用期間は6ヶ月間なのか?」、「男性にも利用を認めるべきではないか。」といった質問・意見が出されました。



意見交換会

岡山大学人材登録バンクの充実

研究支援員の仕事について

研究支援員事業に必要な優秀な人材を確保するため、岡山大学では人材登録バンクを整備しています。平成23年度には、研究支援員の方々のご協力を得て登録説明会を計4回実施し、登録者数が大幅に拡大しました。最近では、育児や介護等で忙しい女性教員が、自身の研究費等により研究補助者を雇用する際にも利用していただいているいます。今後は利用対象を男性教員にも拡大していく予定です。

* * 岡山大学人材登録バンクとは* *

女性教員の研究活動を支援するために必要な人材（研究支援者候補）に関する情報を収集し、研究支援を希望する女性教員に情報を提供することを目的として設置されたものです。人材登録バンク自体は、研究支援員事業の利用とは関係なく、ご自分の研究費等によりご利用いただけます。ご利用を希望される方は男女共同参画室までご相談下さい。（内線：津島7016）

研究スキルアップ講座

男女共同参画室では、研究活動を遂行する上で共通に必要とする知識やスキルの向上を目指した研究スキルアップ講座を実施しています。男女に関係なく、また研究者として様々な段階にある方に参加していただいています。

「研究力3倍増強計画 平成23年度第1回 ～個性を知れば学会賞が取れる～」

大学院自然科学研究科(工)の塚本真也教授を講師に迎えて、9月5日に旧事務局庁舎で実施しました。塚本教授のご著書『個性判定～個性を知れば良い対人関係が築ける～』に基づき、5つの基本個性(独裁者、夢探す人、技職人、親切の達人、正義の人)について具体的な例を交えながら説明を受けた後、基本個性毎にグループに分かれて議論しました。

平成23年度第2回

「国際救助隊サンダーバード構想： 構想・実績があれば予算は後からついてくる！？」



テレビ局も取材に

京都大学工学研究科の松野文俊教授をお招きし、10月14日に工学部で実施しました。自然科学系教員および工学部生を中心に大勢の参加がありました。参加者は、知能ロボット等がご専門の松野先生のこれまでの研究生活についてお話を聞き、「行動力が必要だ」とのメッセージに納得したようでした。当日は、大学院自然科学研究科(工)の亀川哲志講師にも、研究費獲得や共同研究の経験についてご講演いただきました。

平成23年度第2回交流サロン

医療従事者として生きるということ



10月21日に大学院保健学研究科、医療人キャリアセンターMUSCATとの共催で平成23年度第2回交流サロンを開催しました。

今回は「医療従事者として生きるということ」と題し、医療従事者が知つておきたいことについて、近い将来医療従事者となる学生と教員、医療従事者、患者等、様々な立場の方とが語り合う場を提供しました。

34名のみなさんに参加していただき、「女性が育児をしながら働くということについて」、「なぜ医療系学部を選んだのか」、「医療従事者として働く中で生じる仕事への意識変化」などについて様々な意見を出し合う事ができました。特に、10年後の医療に期待する事については、「日本だけでなく世界においても医療へのアクセスがより円滑になるように」、「コメディカルの予防医学への進出を期待する」、「医療技術が進む中においても人が対象である限り「心」を忘れないでほしい」、と言った意見が出されました。サロンの終わりに、参加者からいただいたアンケートには、「多くの人がコミュニケーションの必要性を強く感じていたことが印象的だった」などの感想が寄せられました。

交流サロンとは

男女共同参画推進に関する情報の共有化や意識の啓発・改革が一層進むことを目指して、平成21年度から継続して実施しています。具体的には男女共同参画推進に関する話題について、少人数のグループで参加者同士がざくばらんに意見を出し合い、その内容を全体に披露することで認識を深めています。

研究支援員事業 利用者エッセイ

私は、平成22年3月から研究支援員事業を利用しています。臨床系の講座に属しているため、大学院時代から研究の時間は夕方以降や休日という生活スタイルでした。時間の際限なく自分の都合で好きなように計画して行えていたことが、今では懐かしく思い返されます。

一人目出産後、自身での基礎研究は継続が難しくなり、主に臨床研究に携わるようになりました。それでも、大学に居られる時間には制限があるため、夕方に慌しく帰っていく、事務的な仕事を持ち帰るというような毎日でした。二人目出産復帰後しばらくして、この事業に声をかけていただき、二名の支援員に手伝ってもらっています。人材登録バンクの設置前だったので、大学院生と研究生にお願いをし、現在では彼らを手放すことができません。お陰様で、大学院生の支援により科学研究費をいたいでいた基礎研究の結果を出すことができました。研究生の支援により臨床研究も滞りなく進んでいます。同じ女性ということもあります。精神的にも大きな支えになっています。現在の生活があるのは、教授をはじめ理解ある医局員と、時には時間を気にせず仕事をさせてもらえる両親や家族の協力があるからです。この場を借りて、感謝申し上げます。

歯学部は、教員の3割強、学部学生の6割弱が女性と多くなってきています。女性が働きやすい環境整備の一つとして、研究活動のサポートは有り難いと思います。今後、女性教員のみならず、もっと裾野を広げていってもらえたと思うところです。育児や介護は、24時間365日休みがなく長期戦となります。研究との両立に悩んでおられる方は、研究支援員事業を上手く活用して、心身ともに病まないで欲しいなと願っています。

お知らせ

内閣府平成23年度地域における 男女共同参画連携支援事業

シンポジウム

「性犯罪被害の根絶を目指して」

入場無料

日時 平成23年11月30日(水)13時30分～16時00分

場所 ルネスホール(岡山市北区内山下、電停「県庁通り」そば)

基調講演 「性犯罪対策の課題－性犯罪者の再犯防止と社会の安全」
講師：太田 達也 氏(慶應義塾大学法学部教授)

そのほか、アンケート調査「性犯罪被害の実態と支援施策に関する認識」の報告も行います。

社団法人被害者サポートセンターおかやま(VSCO)
電話/FAX (086) 223-5564

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室は、連携団体として上記事業に参加しています。

編集後記

猛暑が続いたのが嘘のようなさわやかな季節です。後期の講義が始まって、キャンパスには活気が戻ってきました。1年生も大学生らしくなってきましたが、前期の成果を振り返って再度気持ちを引き締めて勉学にサークル活動に励んでほしいと思います。次のイベントは大学祭でしょうか。男女共同参画室では理系の女子学生の増加をめざす活動をしています。本紙面で紹介しているオープンキャンパスでは多くの未来の大学生に対して活動を紹介しました。また、WIT教員を中心に高校への出張講義も行っています。これらの成果が出てくるのが楽しみです。岡山には紅葉の素晴らしい地域がたくさんありますが、岡山大学にいれば紅葉狩りに行かなくても十分楽しめます。農学部の銀杏並木、南北道路の銀杏と図書館前のタイワンクウは黄色と赤のコントラストが素晴らしいです。ちょっと足を伸ばして運動公園もおすすめです。

プロフィール

畠中 加珠 助教
大学院医歯薬学総合研究科
歯周病態学分野

女性サポート相談室だより

第7回キャリアカフェ

9月9日(金) 旧事務局庁舎2階にて、津島地区の女性教職員を対象としたキャリアカフェを開催しました。

参加者の内、正規職員の女性からは仕事量に対する悩みを、非常勤職員は、雇用そのものへの不安や孤立しやすい職場環境などが意見として上がり、雇用形態によって仕事に関する悩みが大きく異なることが明らかになりました。一方で、「夫に家事を頼みにくい」「夫に家事を頼んでもすぐにはしてくれない」といった意見には多数が賛同し、参加者共通の思いであることがわかりました。最後に、「自分の夫にいくら言っても聞いてくれないから、他人の妻からいってくれたら聞いてくれるのでは」といった意見が出され、会場の笑いを誘っていました。いつも、お昼休みを使って開催しているため、話が盛り上がっておりながら中断しなければならず、終了後にはもっと話したかったという感想が寄せられました。

DV防止講演会「DVの被害者・加害者にならないために」

岡山県男女共同参画推進センター・本学学生支援センター・学生相談室との共催でDV防止講演会を実施することになりました。参加は無料ですので、気軽にご参加ください。

日時：平成23年11月25日(金) 13:00～14:00

場所：一般教育棟B棟B32

講演：「DVの被害者・加害者にならないために」

講師：貝原 己代子(NPOさんかくナビ理事長)

お問い合わせ先：学生相談室(251-7169)

申し込み
不要



データで見る岡山大学 男女共同参画の現状④

近年、「理工系離れ（理系離れ）」が問題となっています。男女共同参画室が中高生に科学の魅力を伝えるために実施している「おかやまサイエンス・トーク」に加え、本学では「科学Tryアングル」、「先取りプロジェクト研究を中心とするフロンティアサイエンティスト育成プログラム」等の取組を積極的に進めています。

大学で理系の学部を選択する女子の割合が低いということはよく知られていますが、本学はどうでしょうか？平成23年度、本学への入学者全体のうち、女子は41.4%を占めています。学部別に見た場合、文学部や教育学部では女子が7割程度を占めているのに対し、理学部(26.9%)、工学部(14.1%)、環境理工学部(15.5%)という自然科学系の3つの学部ではいずれも女子の割合が3割以下と極端に低くなっています。本学も例外ではないことが分かります。

クイズ

平成23年度の入学者における男女の割合が
1:1に最も近かったのはどの学部でしょうか？

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室



〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL & FAX: 086-251-7011

E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/>

